

事業報告書

(課題解決特別事業)

申請団体名：小国まちづくり委員会

〔令和5年度採択分〕

令和5年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名 地域の存続、活動の継続 身近な人・家族・仲間で作る関係人口

事業費（予算額）：441,198円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：200,000円）

P 事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果
高齢化・担い手不足の解決策として、お盆に帰省する地元関係者に盆行事で行われる企画に役割を持って参加してもらう。地区民と一緒に運営し企画の中で地域の魅力や実態を感じてもらうことで、帰省時には地元スタッフとして、帰宅時には小国を応援する関係人口として小国に関わってもらう。

D 事業の概要
盆踊りの実施にあたり地区民と帰省者が一緒になって運営を行った。帰省者が地区民の一人として事業へ参加することで、帰省者・地域一体となった盆行事が実施できた。
バザーなどの企画で役割をもって参加し、小国米の米粉を使ったパンケーキや小国米の試食で帰省者には改めて農産物の魅力を感じてもらい、地域の一員であることの自覚と、帰宅した際には小国を応援する人材として、小国の農産物や取組みを情報発信する宣伝スタッフとしての役割を期待している。
また、5年後に開封を予定しているタイムカプセルに、参加した各家庭で自分や家族の思いを書いた手紙や写真を入れた。

C 課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

										○
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

・上記評価の理由

最終目的は、小国地域で行われる運動会や文化祭などに、頻りに役割を持って参加してもらえる地元出身者を確保することであるため、これからも継続した取り組みが必要。

A 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

盆行事以外の地域イベントに企画段階から関わってもらえるよう、出身者の家族（小国地区民）がこの取組みをさらに理解し、協力を促す必要がある。参加者には参加して良かったと思える工夫が見える形で提示できるようにする。

